

第50回日本SF大会  
**DONBURA  
CON**  
ドンブラコンエル

# PROGRESS REPORT ②

静岡出身ゲストコメント  
**瀬名秀明**

静岡SF大全  
第2回：八月の博物誌



実行委員長の

静岡訪問記 草薙編

イベントレポート  
「あかつき」と過ごすピーナスな午後  
キャプテンフューチャーコン2010

しずおか一番リストでリスト  
数字で見る静岡県ってどんなどころ!?

自主企画からのお知らせ

# 静岡出身 ゲストコメント

# 瀬名秀明



ドンブラコンLにご参加のみなさま、こんにちは。静岡出身の小説家・瀬名秀明です。静大出身の嶋田洋一さんに続いて、第50回という節目の日本SF大会のプログレスレポートに、こうしてゲストとして書かさせていただけることを光栄に感じています。中学・高校時代の自分が知ったらどう感じるかな。きっと嬉しく思うことでしょう。

私のペンネームの「瀬名」は、生まれ育った町の名前から拝借しています。みなさまが静岡駅で降りて、もしバスプールに足を運ぶことがあったら、瀬名方面に向かう路線がいくつもあることに気づかれることでしょう。私の本名は鈴木秀明ですが、『パラサイト・イヴ』で作家デビューするとき『リング』の鈴木光司と芸風がかぶるから、おまえは名字を変えろ」「ペンネームに迷ったら故郷の山や河の名前をつけるものだ」とアドバイスを受けて瀬名になったわけです（ちなみに鈴木光司氏も静岡県浜松出身）。

瀬名の町も私が住んでいたころとは様変わりしましたが、当時の思い出は『八月の博物館』という小説に書きました。作中で西奈小学校への通学路を忠実に再現し、「コロコロコミック」や学研の「科学」「学習」に夢中になったあのころの記憶を、「大長編ドラえもん」のようなひと夏の冒険物語に仕上げています。ちょうど静岡は本州の

中央付近に位置し、その夏休みもまた日本の平均的な情景に彩られます。いまは静岡市に統合された旧清水市を舞台とする『ちびまる子ちゃん』が日本の原風景として捉えられているのも、やはり中部（駿河）の風土によるものでしょう。ドンブラコンLが開催されるのは9月上旬。小学校の夏休みが終わり、防災訓練が無事に済んで、2学期へと心が向かう、一年でいちばんせつなく、同時に希望と期待に満ちたその時期を、ぜひ静岡で満喫してください。

中学を卒業し、私は瀬名の町から自転車で30分かけて、駿府城址近くの高校へ通うようになりました。その途中に地元の書店がいくつもあって、毎日のように立ち寄り、胸を躍らせてSFやホラーの新刊を手にとっていました。それらの書籍はどれもきらきらと輝いて、はらかな憧れの対象でした。いま自分が書く側になって、地元の書店に小説を贈り届けられることは、本当に幸せであると感じます。私の本もいま静岡の書店で、あのころのSFやホラーと同じように輝いているといいのですが。

ドンブラコンLでは科学とSFに関する市民公開シンポジウムなどに参加させていただく予定です。みなさま、ようこそ静岡へ。ようこそ富士山のふもとへ。静岡の地で大好きなSFを語り、おいしいお酒や食事をみなさまといっしょに楽しみたいと、いまから開催を心待ちにしています。

瀬名秀明（せなひであき）

1968年生まれ、作家。静岡市葵区瀬名の出身。『ドラえもん のび太と鉄人兵団』のノベライズが2011年2月刊行。2011年1月15日より3月21日まで仙台文学館にて「科学と文学の境界を超えて 瀬名秀明資料特集展」を開催中。

# 実行委員長の静岡訪問記・草薙編

実行委員長は1月16日に静岡を訪問した折に、草薙神社に向かいました。神社は、グランシップから電車で一駅のJR草薙駅から徒歩20分の小高い山の中にあります。



草薙神社はその名のおり三種の神器の一つ草薙の剣を祀ったところですが、龍勢で有名な神社としてご存じの方もおられることと思います。

龍勢とは日本古来の花火で、ここ草薙では毎年9月20日の例祭に打ち上げられます。



境内に入ると、実物大の龍勢の模型が展示してあります。

龍勢は花火とはいっても通常の花火のように筒で打ち上げるのではなく黒色火薬を主原料とした固体燃料で飛ぶロケットです。竹筒に詰めた火薬に穴をあけたその構造は、現代のロケットエンジンと原理的には同様なものです。



入口には祭神日本武尊の像があります。



当日は神事「どんど焼き」をしていたので、実行委員長も餅とだいだいを焼いて大会成功を祈願してきました。

草薙神社  
静岡県静岡市清水区草薙 349  
JR草薙駅から徒歩30分またはバス10分

写真撮影：静岡県清水区草薙 村松敬太



# しずおか一番リストでリスト

東京・大阪間を東名・名神高速を走った事のある方なら、静岡県のはきはよくご存じでしょう。ちなみに都道府県の面積では全国で十三位だそうです……

広々とした静岡県だけに、名産品や名所がたくさんあります。

静岡県のサイトで『MY しずおか日本一』というコーナーがありました。

有名なものから「そんなものまで？」というものまで、いろんな日本一があるので紹介します。

## 次代に残す環境

### <自然>

- 1: 富士山 日本一高い山
- 2: 駿河湾 日本一深い湾
- 3: 富士川 河口幅日本一
- 4: 柿田川 日本一多い湧水量
- 5: ホルトノキ 日本最大の主幹

### <研究・観測・エコロジー>

- 1: 風速 最大瞬間風速
- 2: 漁海況速報 (日報開始) 日本初
- 3: 漁海況速報 (日報回数) 発行回数日本一
- 4: タカアシガニ 世界一長い飼育期間
- 5: サクラエビ 飼育期間日本一
- 6: 養殖トラフグ 完全養殖日本初
- 7: エコアクション 21 認証・登録事業者 日本一多い

## 健康とくらしを築く安心・安全

### <健康・くらし>

- 1: シルバー人材センター設置率 100% 日本初
- 2: 労働力率 日本一高い
- 3: 就業率 日本一高い
- 4: 水道用水供給料金 日本一安い
- 5: 県から市区町村への事務移譲 移譲対象法律数日本一
- 6: 朝食開始時刻 日本一早い
- 7: その他、設備材料他 5 項目 日本一多い

### <食>

- 1: 米 (年間支出金額) 日本一多い
- 2: 米 (年間購入数量) 日本一多い
- 3: マグロ (年間支出金額) 日本一多い
- 4: マグロ (年間購入数量) 日本一多い
- 5: しらす干し (年間支出金額) 日本一多い
- 6: しらす干し (年間購入数量) 日本一多い
- 7: 干しあじ (年間購入数量) 日本一多い
- 8: 他の魚肉練製品 (年間支出金額) 日本一多い
- 9: ばれいしょ (年間支出金額) 日本一多い
- 10: サラダ (年間支出金額) 日本一多い
- 11: みかん (年間購入金額) 日本一多い
- 12: みかん (年間購入数量) 日本一多い
- 13: 緑茶 (年間支出金額) 日本一多い
- 14: 緑茶 (年間購入数量) 日本一多い
- 15: 茶類 (年間支出金額) 日本一多い

- 16: うなぎのかば焼き (年間支出金額) 日本一多い
- 17: キャベツ (年間支出金額) 日本一多い

### <防災等>

- 1: 防災行政無線 整備率日本一
- 2: 沼津港大型展望水門「びゅうお」 水門ゲート設備総重量日本一
- 3: 木造住宅耐震補強工事 助成実績日本一

## 活力ある多彩な産業

### <農・林産物、花き類>

- 1: 茶 (面積) 栽培面積日本一
- 2: 茶 (生葉) 収穫量日本一
- 3: 茶 (生葉) 産出額日本一
- 4: 茶 (荒茶) 生産量日本一
- 5: 茶 (荒茶) 産出額日本一
- 6: 普通温州みかん 結果樹面積日本一
- 7: 普通温州みかん 収穫量日本一
- 8: わさび 産出額日本一
- 9: 切り枝 出荷量日本一
- 10: 切り枝 産出額日本一
- 11: ガーベラ 作付面積日本一
- 12: ガーベラ 出荷量日本一
- 13: ネーブルオレンジ 産出額日本一
- 14: メキャベツ 作付面積日本一
- 15: メキャベツ 収穫量日本一
- 16: 温室メロン 作付面積日本一
- 17: 温室メロン 収穫量日本一
- 18: タアサイ 作付面積日本一
- 19: タアサイ 収穫量日本一
- 20: 葉しょうが 収穫量日本一
- 21: 樹園地面積 面積日本一

### <水産物>

- 1: きはだ 漁獲量日本一
- 2: きはだ 生産額日本一
- 3: めばち 漁獲量日本一
- 4: かつお 漁獲量日本一
- 5: かつお 生産額日本一
- 6: まあじの養殖 収穫量日本一
- 7: まあじの養殖 生産額日本一
- 8: しらす 漁獲量日本一
- 9: しらす 生産額日本一
- 10: にじます 収穫量日本一
- 11: さくらえび 漁獲量日本一

- 12: きんめだい (金目鯛) 取扱量日本一
- 13: きんめだい (金目鯛) 取扱額日本一
- 14: タカアシガニ 漁獲量日本一
- 15: まぐろ (冷凍) 上場水揚量日本一
- 16: びんなが (冷凍) 上場水揚量日本一
- 17: きはだ (冷凍) 上場水揚量日本一
- 18: かつお (冷凍) 上場水揚量日本一
- 19: まぐろ (生鮮・冷凍) 輸入量日本一
- 20: まぐろ (生鮮・冷凍) 輸入額日本一

<加工食品等>

- 1: 冷凍食品魚介類 生産量日本一
- 2: あじ塩干品 生産量日本一
- 3: しらす干し 生産量日本一
- 4: かつおなまり節 生産量日本一
- 5: まぐろ類缶詰 生産量日本一
- 6: まぐろ缶詰 出荷量日本一
- 7: まぐろ缶詰 出荷額日本一
- 8: かつお類缶詰 生産量日本一
- 9: かつお節 輸入量日本一
- 10: かつお節 輸入額日本一
- 11: 紅茶 輸入量日本一
- 12: 紅茶 輸入額日本一
- 13: レトルト食品 出荷額日本一
- 14: 茶系飲料 出荷額日本一
- 15: 緑茶 (仕上茶) 出荷量日本一
- 16: 緑茶 (仕上茶) 出荷額日本一
- 17: 紅茶 (仕上茶) 出荷量日本一
- 18: 紅茶 (仕上茶) 出荷額日本一

<生活用品>

- 1: 温度計 (ガラス製に限る) 出荷額日本一
- 2: 清掃用品 出荷額日本一
- 3: ゆかた 取扱量日本一

<趣味・余暇関連>

- 1: ピアノ 出荷量日本一
- 2: ピアノ 出荷額日本一
- 3: 電子楽器 出荷額日本一
- 4: 洋楽器、和楽器 出荷額日本一
- 5: 楽器の部分品・取付具・附属品 出荷額日本一
- 6: プラモデル 出荷額日本一
- 7: 人形の部分品・附属品 出荷額日本一
- 8: 運動用具 出荷額日本一
- 9: ピアノ 輸出量日本一
- 10: ピアノ 輸出額日本一
- 11: 楽器 (ピアノを含む) 輸出額日本一
- 12: ボール (空気入れ式のもの) 輸入量日本一
- 13: ボール (空気入れ式のもの) 輸入額日本一

<その他の産業>

- 1: 大型漁船 建造日本一
- 2: 白ボール 出荷額日本一
- 3: 色板紙 出荷量日本一
- 4: 色板紙 出荷額日本一
- 5: 触媒 出荷額日本一
- 6: 合成香料 出荷量日本一
- 7: 合成香料 出荷額日本一
- 8: 動力耕うん機、歩行用トラクタ 出荷量日本一
- 9: 動力耕うん機、歩行用トラクタ 出荷額日本一
- 10: 木材加工機械 出荷額日本一
- 11: パルプ 輸入量日本一

- 12: パルプ 輸入額日本一
- 13: 医療用機械器具、同装置 出荷額日本一
- 14: 光電子増倍管 生産量日本一
- 15: 二輪自動車・原動機付自転車 輸出量日本一
- 16: 二輪自動車・原動機付自転車 輸出額日本一
- 17: 二輪自動車・原動機付自転車 輸入量日本一
- 18: 二輪自動車・モータスクータ用内燃機関 出荷量日本一
- 19: 二輪自動車・モータスクータ用内燃機関 出荷額日本一
- 20: KDセット (二輪自動車) 出荷額日本一
- 21: 音響用情報記録物 出荷額日本一
- 22: 映像用情報記録物 出荷額日本一
- 23: 様々な工業製品 (組ひも他 36 項目) 出荷日本一

<産業支援>

- 1: 中小企業高度化資金貸付先 貸付決定累計数日本一

未来を拓く人・交流・文化

<観光・交通>

- 1: 花時計 大きさ世界一
- 2: 金塊 (きんかい) 大きさ世界一
- 3: 旅館 日本一多い
- 4: 別荘 日本一多い
- 5: 温泉利用宿泊施設 日本一多い
- 6: B-1 グランプリ受賞回数 B-1 グランプリ受賞回数日本一
- 7: 富士竹類植木園 竹類の栽培展示種類日本一
- 8: アプト式鉄道 国内唯一 (普通鉄道急勾配日本一)
- 9: 潮騒橋 日本最大 4 径間連続上落式 PC 吊床版橋
- 10: あゆみ橋 世界初の斜張定着 PC 張弦桁橋
- 11: 蓬萊橋 世界一長い木造歩道橋
- 12: 県道 富士公園太郎坊線 標高日本一
- 13: 天城山隧道 日本一長い石造道路隧道

<歴史・文化>

- 1: スペイン製枕時計 日本最古の現存ゼンマイ式機械時計
- 2: 新居関所 国内唯一の現存関所建物
- 3: 玉泉寺 日本初の総領事館
- 4: 旧見付学校 日本最古の現存木造擬洋風小学校
- 5: 清水灯台 日本初の鉄筋コンクリート製灯台
- 6: 旅客機開発 日本初の旅客機製造
- 7: ブラウン管式テレビ 世界初の映像実験成功
- 8: 菊フイルム (フィルム) 日本初のロールフィルム製造
- 9: 水中写真 世界初の撮影成功
- 10: インスタントコーヒー 日本初の製造
- 11: 朝鮮通信使揮毫扁額数 日本一多い
- 12: 富士山頂の句碑 日本一高地
- 13: 「鈴木」姓の数 日本一多い

<スポーツ・教育>

- 1: 日本少年サッカー 発祥の地
- 2: 富士スピードウェイ 日本初の F1 グランプリ開催
- 3: J1 リーガー出身地 日本一多い
- 4: 国体少年男子サッカー優勝回数 日本一多い
- 5: 高校かるた選手権大会優勝回数 日本一多い
- 6: 日本卓球協会加盟登録者 日本一多い
- 7: 屋外スキー場「イエティ」 日本一早いオープン
- 8: コンチネンタル・サイクリング・センター  
アジア初の WCC 自転車競技訓練施設
- 9: 公立高等学校プール設置率 設置率日本一

出典: 『静岡県の日本一 MY しずおか日本一』

<http://www.pref.shizuoka.jp/j-no1/index.html>

## 静岡 SF 大全 第2回：『八月の博物誌』

静岡SFといったら

とうぜん『八月の博物館』ですよ。

まあ、作中に一度も静岡という言葉は出てこないけどね！

(ブログ「瀬名NEWS」8月18日)

と、瀬名秀明は自身のブログに記している。

そう、静岡という言葉は一度も出てこない。であるにもかかわらず、本書は静岡SFである。なぜなのか。それを知ることは、本書の執筆意図を知ることにもつながる。

『八月の博物館』の後、瀬名は明らかに作風を大きく変えた。しかし私たちは、十分意図を汲み取り切れないまま今なお本書をもてあましてはいないだろうか。理系作家がちょっとした気まぐれから手がけたファンタジー。そんな風に考えてはいまいか。発表から十年が過ぎて、見通せる部分も増えたはずだ。今こそ、もう一度読み返してみたい。

時は十九世紀、エジプト・ナイル。フランス人考古学者マリエットが勇ましく活躍し、奪われかけた出土品を取り戻すシーンから物語は始まる。あたかもよくできた歴史小説の一頁のように。

ところがここで物語は唐突に中断し、現代の東京で新作に思い悩む作家・瀬名秀明らしき「私」の独白が始まってしまふ。「現代文学を知らない理科系ベストセラー作家の喜劇」という、当時の瀬名が巻き込まれた実際の論争がそのままストーリーに取り込まれており、一瞬自分が小説を読んでいるのかエッセイを読んでいるのか分からなくなる。

だがこれは思いつきの楽屋落ちではない。執筆当時の現実とまったく地続きな「標高ゼロ」の地点からスタートして、物語はゆっくりと離陸していく。現実とほぼ同等な世界から、より抽象度の高い虚構へ。だからこそ第1章では、上野や国立科学博物館など東京の地名が遠慮なく登場する。だが作者の小学生時代の記憶をもとに書かれる2章以降には、具体的な地名が登場してはならない。もし本来の静岡の地名が登場すれば、それはただの「エッセイ」となってしまうからだ。

もちろん具体的な地名を出しつつなおかつ虚構で

ある小説もあり得る。しかし瀬名がこの後仕掛ける多層的な虚構は、はるかに複雑なものだ。この多層構造を維持するためには、固有名詞はすべて剥ぎ取られる必要があった。しかしそれでいて、その描写は、限りなく実際の瀬名の体験に近いものでなくてはならない。

確かに固有名詞は徹底的に排除されているが、手がかりはすべて消されているわけでもない。注意深く読んでいくと、興味深い記述が何箇所か見つかる。

「私はのろのろと起き上がり、空の青さが濃くなりつつある夕方の道を帰った。一年生のときから何百回、何千回と往復した一本道だった。ガソリンスタンドの前を過ぎ、シャッターの閉まったみかん工場の横を抜け、いつも時間が固まっているような電器屋と雑貨屋を横目で見て、何年も変わら<sup>たんぼ</sup>ずに竹竿を干してあるトタン屋根の古い家を眺め、田圃の畦を流れる水の音を聞きながら、私は家に帰った」(新潮文庫版73ページ)

確かに固有名詞はない。だが、いかにも静岡らしい「みかん工場」という言葉がまだここに残されている。本書の表現は、実際の体験をどれほど反映しているのだろう。瀬名に直接聞いてみた。

『『八月の博物館』の舞台は、私が子ども時代を過ごした静岡市瀬名(いまは静岡市葵区瀬名)の教職員住宅とその周辺が舞台です。主人公が通っていたのは西奈小学校」

これは明かしても問題ないだろう。瀬名は2000年に母校を訪れ、その様子はNHK番組「課外授業ようこそ先輩」の1本として放映されたからだ。内容は「瀬名秀明 奇石博物館物語」(KTC中央出版)でも読むことができる。番組からは、本書で主人公の学校に存在する「二宮金次郎像」が今も残されていることが分かる。

瀬名から聞いた教職員住宅と西奈小学校を結ぶ道を Google Map で検索してみた。驚くべきことに、本当にまっすぐな一本道だった。航空写真からうかがえる町の景観は、瀬名の記述とほとんど変わっていない。その距離 1.3 キロ。大人の足ならば 15 分ほどでたどり着くが、小学生では 20 分以上かかったかもしれない。みかん工場は建て替えられたものの今もある。西奈小の校庭に隣接する「バックハウスコモト瀬名工場」というのがそれだ。近くには「片井電気店」の名が確認できる。間違いなくこの物語は、静岡市瀬名を舞台とする静岡 SF だ。たとえそこからすべての固有名詞が奪われていたとしても。

瀬名秀明の本名は鈴木秀明という。「せな」という独特の音を持つ姓が不思議で、アイルトン・セナのファンだと誤解した編集者もいたそうだ。同郷の出身で先にデビューしていた鈴木光司との差別化をはかるために、編集者の提案で PN が決められた。つまり瀬名の本意ではなかったわけだが、結果として自身の故郷への関心を高めるきっかけになったかもしれない。

本書は、瀬名らしき「私」の現在、小学生時代の思い出、未来から来た博物館、19 世紀のエジプト・考古学者マリオットの物語といくつもの階層から成り、主人公がそれらの世界をつなげて巡っていくことで進行していく。

もちろんこうしたメタフィクションはこれまでもたくさん書かれている。その多くは虚構と現実の融合を目的とした演出であった。読者の住む現実空間を作者の創作空間に引き入れてしまうことで、究極のリアリティが達成される。筒井康隆やボルヘス、コルタサルなどこのスタイルの名手は多い。だが、ここで瀬名が試みたことは少し違う。瀬名は本書で自然科学的な方法のみを用いて「人間はなぜ物語に惹かれるのか」を検証した。現象の法則を見つけ出すためには、固有名詞を極力省いていかななくてはならない。瀬名秀明の物語を A の物語に抽象化した時見えてくる法則とは何か？

これは非常に面白いパラドックスだが、実際の体験を忠実に再現しつつ、そこから固有名詞などの具体的要素を排除していくと、物語はどんどん抽象化し、ファンタジーの手触りを帯び始める。確かに自分自身が体験したものであるにもかかわらず、そこ

に未来の世界から来た不思議な博物館があったとしても何の問題もないほどに。抽象化された骨組みの物語では、現実と虚構の区別をつけることができな。物語から固有名詞を排除していくと、リアルなのに幻想的な雰囲気が生まれる。その世界は日常的な描写とつなぐこともできるし、より幻想的な世界とも地続きだ。科学的思考を突き詰めていくとファンタジーが現れた。瀬名自身ももっとも驚いたことだろう。実は文理が統合された先にはファンタジーがあるのではないか？ いや、より論理的な幻想という意味でそこにあるのは SF と呼ぶべきか。ここから瀬名は、ノンフィクションとフィクションを往復しながら、ロボット学、境界知と、さらに未知の物語を探す旅へと乗り出していく。その旅はいまなお途上だ。SF ファンの中には、瀬名の意図が理解できず、創作姿勢に不信感を抱く向きも多いだろう。だが瀬名がこれまでにかけた成果は、作品を発表順に読んでいけば、おぼろげながら把握することが可能だ。よりはっきりとした言葉として像を結ぶためにはさらにひと押しが必要だが、ゴールは決してはるかかなたではない。近く発表されるという新作を楽しみに待ちたい。

(高槻真樹)

### お詫びと訂正

前号掲載の「静岡 SF 大全」へのご招待に事実誤認がありました。不勉強で申し訳ありませんでした。ここに訂正し、お詫びいたします。

(誤) YAMAHA、スズキ、ホンダ、カワサキ。世界四大バイクメーカーのすべてがここにある。バンダイ発祥の地もここであり、タミヤ模型もここに本拠を置く。



(正) 世界四大バイクメーカーのうち YAMAHA、スズキが本拠を置き、ホンダも発祥の地だ。タミヤ模型も本拠はここであり、バンダイはガンプラの生産拠点であるホビーセーターを置く。

# イベント参加レポート

## キャプテンフューチャーコン 2010

2010.12.19 新宿歌舞伎町ピンクビッグピッグ

2010年の最後の地方コンベンションとして開催された『キャプテン・フューチャー・コン 2010』というイベントに行って来ました。

主催は故野田昌宏さんのファンクラブである『宇宙軍』で、例年は『星涯の会』として開催されているイベントですが、2010年はキャプテン・フューチャーことカーティス・ニュートンが20才になり『キャプテン・フューチャー』を名乗って太陽系の平和のために活動しはじめるその年であるということで、『キャプテン・フューチャー・コン 2010』と併催という形での開催となりました。

『キャプテン・フューチャー・コン』は1990年にも開催されており、こちらはカーティス・ニュートンの生誕を祝う会でした。今回は、この名前でのイベントは2回目、ということです。

会場は新宿歌舞伎町にあるライブハウス『ピンクビッグピッグ』。SF系イベントとしてはかなり変わった雰囲気の中での開催となりました。そのアルコールメニューが凝ってまして、キャプテン・フューチャーの作中に登場した「液化ラジウム・ハイボール」などオリジナルカクテルがずらりと並んでいます。

液化ラジウム・ハイボールを頼む時に追加で注文して買えるオリジナルグラスは早々に売り切れていましたね。

もう一つ凝っていたのが、参加者に配布され会場でも販売されていた記念冊子『キャプテン・フューチャー フューチャーメン出勤せよ!』です。野田大元帥翻訳で出版されていた往年のハヤカワ SF 文庫(いわゆる「白背」)の装丁もそのままに、カバーイラストは当時のイラストレー



ター水野良太郎さん描き下ろしの新作という贅沢っぷり。

内容は故野田大元帥のキャプテン・フューチャーに関するエッセイやコラム、雑誌記事などを発表年代順に並べたもので、なかなか読み応えがありました。

企画は3つ。

まず最初は「キャプテン・フューチャーのアニメーション」。

1970年代にNHKで放送されたアニメ版『キャプテン・フューチャー』について、メイン脚本の辻真先さん、当時東映動画でプロデューサーをされた田宮武さん、それに池田憲章さんと宇宙軍から(アニメ業界では「AICの」と紹介した方がいいかも)井上博明さんが語りました。

辻さんと田宮さんが当時の製作の苦労話を、池田さんがここに来られていない関係者から取材してきた話を、井上さんがアニメ版キャプテン・フューチャーについて野田大元帥と話した思い出話を挟まれて、たいへん楽しめたのでした。



「イラストで語るキャプテン・フューチャー」は、ハヤカワ文庫版でイラストを担当された水野良太郎さんと、創元文庫から復刊された新版のイラスト担当の鶴田謙二さんが語るという贅沢な企画。飛び入りでハヤカワ文庫当時の担当者である森優さんと創元版の担当者である小浜徹也さんが登壇されました。

イラストを投影しながら話すスタイルだったのですが、水野さんの「カバーイラストは30分くらいで描いてた。モノクロは5分くらい」という発言に、(遅筆で知られる)鶴田さんがたじたじに……。(笑)

最後の企画は「キャプテン・フューチャーの歴史」。ゲストは森優さん、小浜徹也さんの歴代編集者に加えて、ハミルトンとキャプテン・フューチャーの書誌・関連作品などを研究されておられる伊藤民雄さんと木下信一さんが登壇。

世界でのキャプテン・フューチャー翻訳のようすや、野田大元帥の日本語訳と原文とを並べて表示して翻訳ならではの楽しみなどについて語られ、なかなか興味深いパネルディスカッションでした。

メインホールの横には少し小さな部屋があって、そこには野田昌宏さんの書庫にあったいわゆる『野田コレクション』からキャプテン・フューチャー関連の書籍やグッズが展示され、また水野

良太郎さんと鶴田健二さんのイラストのデジタル複製も展示されていました。(展示のデジタル複製イラストはイベント終了後希望者に販売というおまけ付き)

1990年のキャプテン・フューチャー・コンの際に製作された着ぐるみのフューチャーメン。宇宙軍メンバーの倉庫の奥で保存されていたのを発掘してきたそうです。今回はイベントのオープニングと、エンディング後にエンタランスでお見送り役でした。

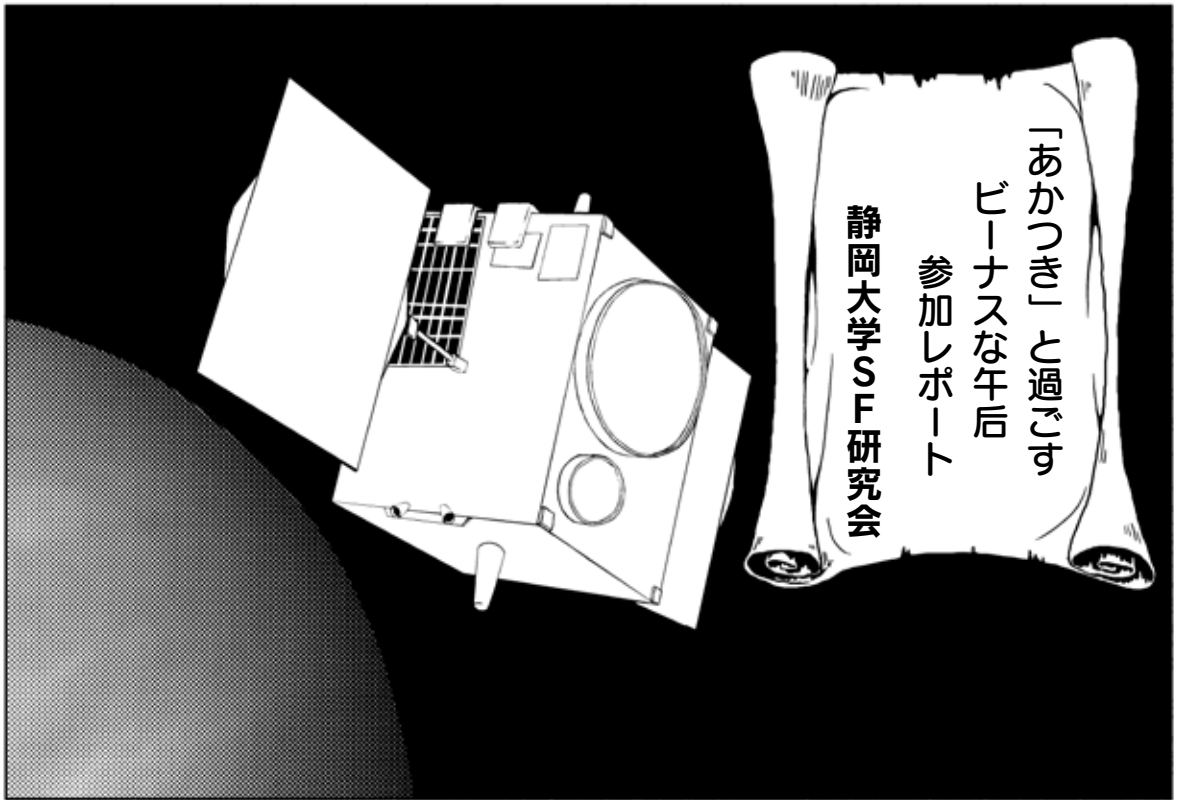
最初はちょっと戸惑ったライブハウスという会場でしたが、パネルディスカッション中心のイベントとは相性がよかったです。全体に手慣れた雰囲気でのいいイベントでした。キャプテン・フューチャーは宇宙SFの中でもエンターテインメント性を重視したスペースオペラというジャンルの代表作。これからも語り継がれていくことになるでしょう。

ドンブラコンL実行委員会では、開会式でのイベント告知に加えて、テーブルを設けていただいて参加受付を行いました。第二次早期割引終了間近、しかも実行委員長判断でイベント割引まで行ったこともあり、予想外の参加申し込みをいただきました。



このレポートは都築 blog 掲載のレポートを再構成したものです。 <http://www.crossroad-online.jp/tsuduki/>

# イベント参加レポート



厚い雲に覆われた灼熱の星、金星。その金星の謎を探るために打ち上げられた探査機「あかつき」の金星周回軌道投入が失敗した事については、既報の通りである。その金星軌道投入を直前に控えた11月20日に、「あかつき」についての講演会が浜松市で開催され、親子連れなど多くの人に参加した。

講師として「あかつき」科学観測のとりまとめ役の今村剛氏や、インターネットサイト「月探査情報ステーション」の編集長の寺菌淳也氏、そして「はやぶさ」プロジェクトサイエンティストの吉川真氏の三人が、「あかつき」や金星の謎、魅力について語った。

金星探査機「あかつき」は2010年5月21日、ソーラー電力セイル「IKAROS(イカロス)」と共に、種子島宇宙センターからH-IIA型ロケット17号機で打ち上げられた。初音ミクが描かれたプレートを搭載しているという事で、ニュースサイトなどで取り上げられており、ご存じの方も多いのではないだろうか。

「あかつき」の最大の目的は金星の大気の謎、特に大気の上層部が一定方向に時速400kmで流れている現象、「スーパーローテーション」のメカニズムを解明する事にある。金星の自転速度は人の歩く速度と同程度であり、地球と比べても格段に遅い。にもかかわらず、このような現象が起こる理由を、調査することだったのだ。

講演後には講師陣から参加者に対して、金星に関するクイズの出題が行われた。寺菌氏の「皆様に甘くない」の言葉通り、金星の自転周期や地表での大気圧から、金星繋がりでも映画「惑星大戦争」の戦艦の名までマニアックな問題が多く出題され、参加者、特に子供達を大いに苦しめた。

「あかつき」は12月7日に金星周回軌道に乗り、およそ二年をかけ金星の大気を調査し続けていく予定であったが、アクシデントによりそのチャンスは6年後まで待たれることとなった。今後の展開を見守りたい。

# 自主企画からのお知らせ

## SF 創作講座教材用小説の募集

SF 小説の創作技術をスキルアップしたいあなたのために、今年もやります。

応募原稿は事前にプロの講師の方々に読んでいただき、会場で1作品ずつ講評していただきます。

講師は、SF マガジン元編集長の塩澤快浩さん、作家の森下一仁さん、書評家の三村美衣さん、作家の横山信義さん。

滅多にない機会です。ふるってご応募ください。

### 応募規定

ジャンル：ノンジャンル

ただし雑誌の新人賞へ応募した作品、同人誌に掲載した作品をそのまま転用するのはご遠慮下さい。

枚数：400 字詰め (20 字×20 行)

原稿用紙換算で70枚以下  
(表紙、アンケート含まず)

メ切：6月末(予定)

### 応募に関する制限

- ・第50回日本SF大会「ドンブラコンL」に参加予定の方
- ・前回大会から今回メ切(下記)までの間に、小説の商業出版がない方
- ・お1人様1作品までとさせていただきます
- ・電子メールでの応募に限らせていただきます

### 応募先

e-mail : seitsudo@nifty.com

### 原稿書式

テキストファイル形式、またはWindows版Word2003で読み込める形式で保存し、下記のアドレスに添付ファイルとしてお送り下さい。

※テキスト形式の場合、ルビが必要な場合は別ページで指定して下さい。

※編集にはWord2003または2007を使用します。フォーマット変換の際、形式によっては意図した版組みにならない可能性があります。

※表紙には必ず「作品タイトル」「著者名(ペンネームの場合は本名も併記)」「住所」「400字詰め原稿用紙換算枚数」を明記して下さい。

### 印刷費の執筆者負担について

勝手ながら、テキスト「でならひ草子」の印刷費の一部負担をお願いします。

25枚まで5,000円、以後1枚につき200円の加算

#こちらで枚数を確認した後、金額と支払方法などをご連絡させていただきます。

#余剰金が出た場合、講座終了後に返金させていただきます。

### アンケート

応募時に、下記アンケートへのご回答をお願いします。

#### I. 応募作品について

- 一. 作品を書くのにのべ何時間(何日間)かかりましたか
- 二. 何回書きなおしましたか
- 三. 誰かにみせて意見を聞きましたか
- 四. 中で一番気に入っているところはどこですか
- 五. 書きにくかったのはどんな部分ですか
- 六. ウケるはずだと思ったのはどこですか
- 七. これまで書いてきたものとこの作品とで意識して変えたものがありますか、あるとすればそれはどんなことですか

#### II. 選考委員にいちばん聞きたいことはなんですか

III. 将来的にはどういう方向を考えていますか。  
(商業誌デビュー/同人誌/個人の趣味として書き続けたい/その他)

IV. その他、創作講座に要求があればお書きください

ご不明な点などの問い合わせは e-mail:ter@h8.dion.ne.jp までお願いします。

Seals

今年もシール企画やります。  
初めての人も、常連さんも、  
シールコレクションで大騒ぎ！

### シール企画でSF大会活動記録

シールコレクションは、2003年から日本SF大会で続いているプリクラサイズのシールを集める企画です。シールは、参加した企画で貰う企画シールや、出会った人と交換する個人のシールなどがあります。交換した順に**冊子型台紙**にシールを貼付けて行けば、いつの間にか、大会であなたが誰と出会い、どんな企画に参加したかの記録が出来上がります。冊子型台紙は全員に配られますから、誰でもすぐに始められる大会ライブ・ログ兼名刺交換兼個人アピール。あなたも始めてみませんか！？

### 自分用シールを用意しよう

シールは自分のマーキングとなるものですから、人と同じデザインに重なりさえしなければ市販のものでも別に構いません。でもせっかくなら自分でオリジナルシールを作っちゃいましょう。

シール企画から願っているのは、ただ一つ。冊子型台紙の**枠に収まるサイズのシール**にして欲しいということ。27ミリ角の枠内に入れば、どんなシールでも構いません。少々厚みがあっても冊子が閉じられない程でなければOKです。

シール企画としては、入手の容易さ、印刷面積の手頃さ、紙質の豊富さ、版面を縦横どちらにも使える自由度の高さから**17×24ミリサイズのプリクラ用紙**を推奨しています。

### シール自作派のススメ

作成は、御家庭のパソコンとインクジェットプリンタで簡単に出来ますし、少々割高ですがプリクラで打ったものでも構いません。逆にぐっとローテクにはしてシール用紙へ直接手書きしたり、ハンコを押したりして作ってみるのも面白いですよ。過去には小さな折鶴を貼付けたシールもありました。

工夫を凝らしたシールを作ってみて下さい。

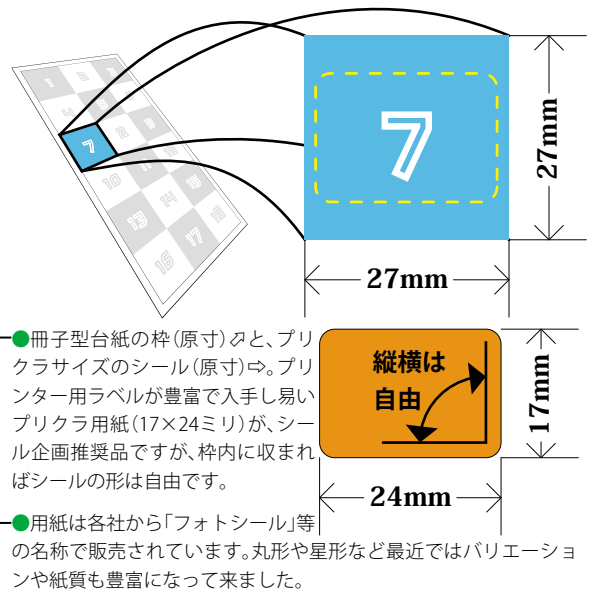
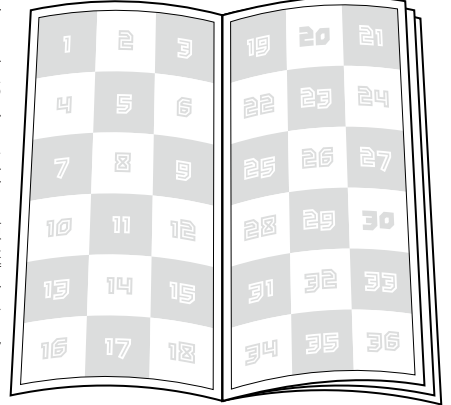
大会当日、会場で作る方法も**3つあります**。

一つは、自分で作る簡易システム**シール君**です。設置された端末を使い、自力でシールが作れます。

もう一つは**シール屋さん**。シール屋さんは、指示書を書いていただき、専任スタッフが対応します。ただし費用的には割高になります。

その他に、グリーンバック撮影等、更に特殊な作業を行う**トクサツシール君**もあります。

●冊子型台紙は、ハガキより横幅が一回り狭い縦8ページの手帳型。名札ホルダーに出し入れし易いサイズ。大会参加者全員に名札と一緒に配布されます。やることは簡単。貰ったシールをこの冊子の108枠に並べて貼って行くだけ。108枚集めたあなたにはシール企画のブースで申請すると、**煩惱王**の称号とともに記念品と、次なる冊子型台紙が与えられます。過去には、最大4冊の冊子型台紙を埋め、5冊目の冊子型台紙をゲットした年間最高数シール取得者、煩惱王の中の煩惱王「煩皇」も誕生しました。今年、アナタはどれだけのシールを集められる？！



●冊子型台紙の枠(原寸)みと、プリクラサイズのシール(原寸)⇄。プリンター用ラベルが豊富で入手し易いプリクラ用紙(17×24ミリ)が、シール企画推奨品ですが、枠内に収まればシールの形は自由です。

●用紙は各社から「フォトシール」等の名称で販売されています。丸形や星形など最近ではバリエーションや紙質も豊富になって来ました。

**シール君** 簡単な専用ソフトがインストールされたシール君端末を操作して、あなた自身でシールを作れます。シールや文字の縦横配置や、背景の絵を選び、文字をインプットするだけ。機能限定版だけど逆にその分誰にでも簡単に使えるソフトです。印刷用シール用紙はカウンターで用意しています。 **100円**

**シール屋さん** みなさんには指示書を書いてもらい、シール企画のスタッフがシールを作るシステム。シール君ではちょっと難しい要望も叶えます。ただ、注文が立込む場合、しばらく時間を頂くことがあります。シール君同様、持ち込んだ写真データ等を使うことも可能です。 **200円**

**トクサツシール君** グリーンやブルー等の背景の前でポーズを取っていただき、ブルーバック合成の要領で背景写真やCGと合成した写真等を作ります。ただ、割と職人技の細かい作業が必要になりますので、ちょっと時間を多めに取って下さい。 **300円**



# 自主企画申込書記載要項

- 【企画名称】 企画名称は、現時点の仮称でも構いません。仮称の場合は（仮）を入れておいてください。
- 【企画種別】 該当する企画形式にチェックをしてください
- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 講 演         | : 1人の出演者が観客に講義をする形式              |
| パネルディスカッション | : 複数の出演者がテーマについて話を繰り広げる形式        |
| 講 座         | : 参加者が作品を持ちあい、プロが批評する形式          |
| 上 映 会       | : 映像物を上映する企画                     |
| 座 談 会       | : 参加者がテーマについて話し合う形式              |
| お 茶 会       | : 参加者にお茶やお菓子などを供しつつ、企画を楽しんでもらう形式 |
| ゲ ー ム       | : ゲームをする企画                       |
| コ ン サ ー ト   | : 歌などを観客に披露する形式                  |
| 展 示         | : イラストや物品などを展示する形式               |
| 印 刷 物 発 行   | : 印刷物などを発行・配布する企画                |
- 【レイアウト】 該当するレイアウトにチェックをしてください
- |        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| スクール形式 | : 学校の教室のように机と椅子を配置したもの           |
| シアター形式 | : 劇場のように椅子を配置したもの                |
| 口の字型   | : 机をカタカナの口の字に配置し、そのまわりに椅子を配置したもの |
| 島 組    | : テーブルを部屋の中央に配置し観客が周囲から鑑賞するもの    |
- 【希望日時】 企画を行う日時 of 希望にチェックをしてください。  
時間帯は午前12:00ごろまで、午後18:00頃まで、夜間は18:00以降が目安です。なお企画時間についてはご希望に沿えない場合もございます。どうかご容赦ください。
- 【希望コマ数】 企画に必要なコマ数あるいは時間にチェックをしてください。その他の場合は具体的な時間をご記入ください。企画準備・撤収時間はそれぞれ15分を予定しております。それ以上必要な場合は備考にお書きください。
- 【リアルタイム／事後公開範囲】 企画の様子をインターネットで動画として同時配信することから、企画内での会話はオフレコとして欲しい場合まで、内容公開が可能な範囲にチェックして下さい。  
※公開を許可される場合には参加者の方に公開される旨ご周知ください。著作権・肖像権等の問題が発生した場合には、企画主催者が責任を持ってご対応ください。ご対応が困難な場合には公開を許可しないでください。
- 【必用機材】 マイク、PA、モニター、ビデオデッキなど、企画に必要なと思われる機材と数量をご記入ください。大会当日にソフトとハードが合わないというトラブルが発生しておりますので、ビデオデッキなどはVHS、SVHS対応などの詳細もお教え下さい。
- 持込の有無 企画主催者が持込：ご自分達で用意・運搬可能なものにチェックをしてください。  
実行委員会が用意：御自分達で用意・運送不可能と思われるものにチェックをしてください。  
なお、実行委員会側で危険物と思われるもの、事故につながる機材については、持ち込み不可とさせていただきます。
- 【企画出演者】 司会者・パネリスト等、現時点で予定している出演者をご記入ください。またその方々のご職業も併せてお教え下さい。出演者が4名を超える場合は、コピーして別紙で添付してください。  
(裏面には記入しないで下さい)
- 交渉依頼 企画主催者が交渉：出演者に自分で連絡がつけられ、交渉ができる場合にチェック  
実行委員会が交渉：出演者に連絡がつけられない場合にチェック
- 【企画持込者】 企画に関する責任者の方について、ご記入をお願いします。  
ドンブラコンLへの参加登録がまだお済みでない方は、登録番号は空欄で構いません。
- 【ご要望】 ご要望や追記事項がありましたら、お書きください。

ゲストの可否は大会事務局の基準に沿います。  
作家／イラストレーター／マンガ家等クリエイターの他、企画内容に関連した職業のプロの方はゲストとして扱うことが可能です。

## 申込み締切 2011年5月末日（必着）

締切り日以前でも、申し込みが定数に達した場合は募集を締め切る場合があります。あらかじめご了承ください。

送付先： 〒328-0075 栃木県栃木市箱森町 25-68 有限会社 T-CNET 内 ドンブラコンL 係  
FAX: 050-3156-1349





# 実行委員会からのお知らせ

## ■企画申し込み・ディーラーズルーム申し込みについて

前号でお知らせした第50回日本SF大会ドンブラコンL公式サイト稼働が順調にずれ込んでおりまして、企画申し込みは2011年になってやっと稼働しました。

なお、実行委員会との打ち合わせ等の必要性から、自主企画の申し込みはメール等で連絡可能な方に限らせていただいております。申し込みも公式サイトフォームからを推奨します。紙の申込用紙が必要な方は、今号に掲載の申込用紙をA4サイズに拡大コピーしてご利用ください。用紙の配布は行いません。

ディーラーズルーム出展申し込みは、3月中旬に稼働の予定です。

<http://www.sf50.jp/>

## ■公式 blog 開設のお知らせ

公式サイト内に公式blogを開設しました。実行委員長の活動日誌、プログレスレポートでも連載中の『静岡SF大全』のweb版、プログレスレポート編集部日誌などが不定期に連載になっております。

<http://blog.sf50.jp/>

## ■実行委員会参加イベントのお知らせ

実行委員会に参加を予定しているイベントは、以下の通りです。イベントでは、参加受付、参加申込書の配布などを行います。なお、当日参加するスタッフによっては、ご質問にその場でお答えすることができない場合があります。あらかじめご了承ください。

- HALCON 2011 4月9日～10日 川崎市国際交流センター
- 第10回ライトノベルフェスティバル 4月29日 ハイライフプラザいたばし
- SFセミナー 2011 5月3日・4日(予定)

## ■プログレスレポート掲載原稿募集

プログレスレポートへの掲載原稿を募集します。自主企画の告知、地方コンベンション等のイベント告知などはもちろんのこと、ディーラーズルームで販売する同人誌の広告や記事中に試用するカットなども、お送りいただければ使用させていただきます。(掲載料は不要ですがカット等の場合も原稿料は出ません)

プログレスレポート3号掲載のメ切は、2月末日を予定しています。原稿の形式など詳しいことは、上記公式blogの『編集部残日録』コーナーをご覧ください。

## 編集後記

2月に発送しているプログレスレポートの2号ですが、2011年1月前半に行っています。

ちょうどこの時期、秋発売の新刊のゲームノベライズの執筆が大変なことになってる時期でして……まあ、大変でしたわ。

それなのに直前になって「企画申込用紙を綴じ込みで」とかいう発注がついて……。まあいいや。

都築由浩

### 第50回日本SF大会ドンブラコンL プログレスレポート第2号

発行日	2011年 2月20日
発行人	池田武
編集者	都築由浩
連絡先	〒328-0075 栃木県栃木市箱森町25-68 有限会社T-CNET内 ドンブラコンL係 TEL:0282-20-1270 FAX:050-3156-1349 Email : info@sf50.jp http://www.sf50.jp/ 印刷 プリントビズ (http://printbiz.jp/)